



湖都通信

65

2011.3.23

関東支部会報告記 2~3
2010 年度総会報告 4~6
創立 30 周年記念事業の案内 7

保健師部会交流会 8
クラブ紹介 9~10
LITTLE WINDOW 11

2010年度総会

・「湖医会」30周年記念事業として6事業が承認されました。

1. Home Coming Day
2. 地方支部会の立ち上げ支援
3. 奨学金制度のリフォーム
4. 求人、求職情報の発信
5. 「湖都通信」記念号
6. 在学生支援事業「湖医会文庫」

・役員任期が2年から3年に変更され、次回の改選から適用されます。

第10回『湖医会賞』候補者の推薦を受付中!!

応募方法は、<http://www.koikai.org> または、11頁をご覧ください。

クリエイティブ モチベーションセンター

ネームプレートが完成しました。
筆者の声を掲載いたします。(11頁をご覧ください)



関東支部会報告記

vol. 12

第12回関東支部会が、昨年8月21日(土)東京品川プリンスホテルで開催されました。当日の【ミニ講演会】では、UASオンコロジーセンター長の植松稔氏(医2期生)が、講師として招かれ、『私のセレンディピティとがんの放射線治療』についてお話され、盛況のうちに終わりました。この関東支部会には、卒業生のご厚意により、毎年学生は、会費無料で参加しています。翌22日(日)には、恒例のゴルフコンペが行われました。



～関東支部会に参加して～

UASオンコロジーセンター長

植松 稔 (医2期生)



8月の関東支部会。皆さま、本当にお久しぶりでした。春頃に、懐かしい同期の加藤先生から電話でお誘いを頂き、講演をさせて頂くことになり、品川プリンスにお邪魔しました。当日はいつまでも若々しい河野先生に司会をして頂き、昔のままのさわやかさを保つ「湖医会」会長の渡辺先生や軽音楽部の久保田先生、下田先生などの懐かしい方々に加え、学長の馬場先生にもポリクリ以来30年ぶりでお目にかかることができました。当日は私の仕事の事などお話をさせて頂きましたが、個人的には二次会で皆様とゆっくり飲めたのが何よりでした。

私の本業はがんの放射線治療ですが、そこから少しはみだして、世界中に敵が増えることも省みずに、乳がんの抗がん剤治療について思うがまま、考えるがまま文章にして連載しています。“アイデアフォー”という乳がん患者会の通信の寄稿です。機会があれば読んでみてください。

ではまた、どこかで。



先輩のアドバイスを受けています



馬場学長と渡辺会長も参加されました



話の花が咲きました



「湖医会」副会長

加藤 正二郎 (医2期生)



2010年8月21日東京品川プリンスホテル『品川大飯店』で第12回滋賀医科大学同窓会関東支部会(通称関東会)が開催された。開場は夕方6:30であったが、記録的な猛暑の中、汗を拭うハンカチ片手に35名もの同窓生にご集いただいた。

まずは、今や恒例となった馬場学長からの大学の近況報告で幕を開けた。現代の厳しい医療情勢下で難問山積の大学再生及び改革に向け、英知を傾注されておられるお話を参加者一同拝聴した訳であるが、我々同窓生にとって本学の将来は重大な関心事であり、学長先生のその真摯な情熱には大いなる感動を受けた。

久保田代表幹事(医1期)の開会の挨拶に続いて植松稔君(医2期)の特別講演に移った。『私のセレンディピティとがんの放射線治療』と題して、肺ガン・乳ガンの放射線治療を中心に、世界に向け発信し続けたこれまでの輝かしい研究、診療実績をお示しいただいた。さらに自らの人生を振り返りながら、人との出会いがいかにセレンディピティとの遭遇へと結びついたかを興味深くお話しいただき、大変感銘を受けた。

講演後は、乾杯の後懇親会へと移り、ビュッフェ形式の中華料理に舌鼓を打ちながら、楽しい語らいの時間を過ごした。今回は卒業を間近に控えた6回生を含め、7名の学生の参加があり、自己紹介を兼ね今後の抱負なども語ってもらい、会場は何とも初初しい空気に包まれた。渡辺一良「湖医会」会長からは、『「湖医会」30周年記念事業』の企画について説明があった。

気が付けば、予定の2時間はあっという間に過ぎ、参加者全員での集合写真を撮影。世代を越え、心根の知れた仲間とのネットワークは、かけがえのない貴重なものと再認識し、来年の回帰を約し散会となった。

2次会は、同ホテル39階の『トップオブ品川』で東京湾遠望のロケーションの中、夜の更けるのも忘れ賑やかな歓談が続いた。

翌8月22日は、東京で唯一リンクスコース、木場から程近い若洲ゴルフリンクスでゴルフ(参加者6名)に興じ、医8期の濱口晃一君が先輩達を抑えての優勝であった。



ゴルフコンペ参加者のみなさん

獨協医科大学精神神経医学講座

下田 和孝 (医3期生)



2010年8月21日に滋賀医科大学同窓会関東支部会が例年通り品川プリンスホテルにて開催されました。私は2003年に現在の勤務先である獨協医科大学に赴任するまで関東支部会のことをあまり知りませんでした。出席するたびに関東地区に多くの同窓生が活躍しているのを知り、勇気づけられます。本年度はUASオンコロジセンター長、植松稔先生の最先端の放射線治療、スーパーフォーカルユニットに関する特別講演を聞き、大変勉強になりました。植松稔先生は私の一年先輩であり、軽音楽部の先輩でもあります(軽音楽部では「真のロッカーとはなんぞや」ということも植松先輩の背中を見て学んだ気がします)。

翌日の8月22日、これも例年通り、若洲ゴルフリンクスにてゴルフコンペが開催されました。例年の固定しつつあるメンバーですので、来年は奮って参加していただきたく存じます。



学生さんの声をお届けします



この度は関東支部会に参加させて頂きありがとうございました。植松先生の講演では呼吸器内科の先生との熱い答弁が聞かれ、進路の選択肢が固まってきたことは大きな収穫の一つになりました。二次会にまで寄せてもらいまして、現実の厳しさを叩き込まれ、強がらないことを決心できたということも大きな収穫の一つになりました。話しかけて下さった先生方や、このような機会を与えてくださった「湖医会」の皆様感謝しております。本当にありがとうございました。(医6回生 上倉 英恵)

今回、初めて「湖医会」の東京での集まりに参加させて頂きました。参加されている先生がたは、大学が創設されて間もない頃に卒業された先輩方も多く、当時は今のように相談する先輩もおらず、色々な苦勞があったという話を教えて頂きました。その頃と比べて、様々な場所で卒業生が活躍されている状況で卒業する我々は恵まれています。そのような恵まれた環境を生かし、同時に初期の先生がたがお持ちだったパイオニア精神も忘れず、自分も卒業後しっかりと歩んでいければよいと感じました。この度はありがとうございました。(医6回生 谷川 朋幸)

関東支部会に参加させて頂きありがとうございました。講演会では植松先生から最先端の放射線治療のお話があり、大変勉強になりました。その後の懇親会では多くの先輩医師と直接お話できる機会を得ることができました。始めは緊張していたのですが、先生方は皆気さくで話しやすく、大変ためになる話を聞くことができ、時間が足りないと感じるほどでした。今回はこのような貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。(医4回生 栗林 英人)

関東支部会に参加させて頂き、ありがとうございました。植松先生の講演では、癌の放射線治療について大変わかりやすく説明して頂き、癌治療に関する興味が大きなものとなりました。また、多くの先生方から、診療の様子や病院の特徴についてお話を伺うことができ、大変参考になりました。このような貴重な機会を設けて頂き、本当にありがとうございました。(医4回生 相子 直人)

この度は関東支部会という貴重な機会を頂き本当にありがとうございました。植松先生のご講演は非常に刺激的なもので、私は若輩者ながら今後のモチベーションを大きく上げて頂いた気が致します。また緊張している私に先生方から話しかけて頂き、親しみやすい雰囲気のもとに自分の目指す将来像に近づく上での指針や貴重な体験談を頂き有意義な時間となりました。来年も機会があれば参加したいと思っております。ありがとうございました。(医4回生 城内 泰造)

2010年度 同窓会総会議事録

1、'09事業報告及び'09決算について

原案どおり承認された。

2、'10事業計画及び'10予算について

原案どおり承認された。

予算案のうち、繰越が多額であることについて、奨学金財源の増額、永年会員制の導入等の意見があり、議長提案として、会費払込みの減少傾向もあるので、他大学の例を参考に会費収入構造のシミュレーションを行うことについて諮られ、5年を目途に会費制度を見直すことが承認された。

3、会則の一部改正について

役員の任期2年を3年とすることに伴い整備するもので、原案どおり承認された。

4、「湖医会」30周年記念事業について

記念事業の6事業について、原案どおり承認され、各論については今後詰めていき幹事に諮ることとなった。

⑥「湖都通信」記念号については、掲載内容、体裁、発行回数等について意見交換があり、引き続き乾 乾武広氏と協力して進めることとなった。また、⑤湖医会文庫は、会員の寄付により図書館蔵書とするものであるが、大学が設立を計画している「わかあゆ夢基金」とは別のものとして進めていくこととなった。

主な資料

1、2009年度事業報告

1、湖都通信の発行 61号・62号・63号を発行した

2、サービス事業

1) 会員へのサービス

・『湖医会メール』の配信：登録数 約1790名

2009年9月～2010年8月まで50通配信

毎月1回「マンスリーメール」配信

2) 病院情報サービス：4病院が登録

3) 医師賠償責任保険

・加入者数：359名うち会員：340名（新卒48名）、
残り19名は他大卒滋賀医大勤務者で賛助会員に入会済

（昨年 加入者数：308名 うち会員：282名（新卒57名）

・事務手数料として¥463,818の収入があった。（昨年¥401,655）

3、役員の選出

・総会にて新役員決定（09.10.24）・公示（09.11.2）。任期は2年

4、湖医会賞

・2010年度第9回「湖医会賞」受賞者の選考（10.7）

：応募者1名が受賞者に決定

5、同期会を共催した

・卒後20年同期会・・・医9期生（10.3.27琵琶湖ホテル）

・卒後10年同期会・・・医19期生（10.2.27琵琶湖ホテル）

・卒後10年同期会・・・看2期生（09.12.5ホテル京阪京都）

・卒後10年同期会・・・看3期生（10.2.6がんこ京都駅ビル店）

・卒後5年同期会・・・看8期生（10.3.20草津エストピアホテル）

6、学生へのサポート

1) ①国試説明会（09.11.6）：医師賠償加入意思確認書・年会費納入の
お願い・口振申込書

②受験票配布（10.2.9）：医師賠償加入申込書一式・卒後連絡用紙を配布

2) 卒業祝賀会を学生と共同運営・・・10.3.25

3) 「西医体」応援キャンペーン・・・10.6 32口¥96,000
（昨年は19口¥57,000）

4) 活動支援

・若鮎祭と『湖医会賞』講演会の共催。実行委員会へ寄附¥200,000

・卒業生祝賀会を主催。¥100,000

・新入生歓迎委員会への援助金¥100,000

・看護学科卒業生と学生の交流懇談会への援助金¥50,000

5) 『湖医会奨学金』：1名・『藤原よしみ奨学金』：2名に貸与済
追加拡大『湖医会奨学金』：4名に貸与決定

6) その他

・新入生オリエンテーションで「湖医会」を紹介（10.4.6茶野副会長）

・関東支部会への参加案内

7、大学への協力

1) 寄附・・・滋賀医学国際協会へ寄附¥100,000、

2) 会議に参加・・・関連病院長会議／滋賀医学国際協会／
経営協議会／学外有識者会議

3) 行事に参列・・・卒業式（10.3.25渡辺会長）／
入学式（10.4.6茶野副会長）

4) 協力・・・依頼のある各部署及び学生（部活OB会等）へ
タックシール等の提供

5) 『地域「里親」による医学生支援プログラム』の実施への事務協力

8、支部会への援助

1) 関東支部会（10.8.21）：一昨年に引き続き馬場学長が出席。
「湖医会」本部から渡辺会長が出席

2) 保健師部会への援助・・・事務支援

9、「医師賠償責任保険」加入者を拡大していく：

・医師賠償保険団体適用は「湖医会」会員に限定されるため、
他大卒滋賀医大勤務者には、賛助会員として入会勧告し、
入会してもらった（年会費納入義務もあり）：19名（1名未納）

主な資料

1, 2010年度事業計画

- 1, 湖都通信の発行 64号・65号・66号を発行した
- 2, サービス事業
 - 1) 会員へのサービス
 - ・『湖医会メール』の配信をより充実させる。
 - 2) 病院情報サービス・対象病院の拡充
 - 3) 「医師賠償責任保険」加入者のとりまとめ窓口として、新規・中途加入を呼びかける。
- 3, 役員の選出
 - ・選挙の公示・・・2011.5
- 4, 湖医会賞
 - ・2011年度第10回「湖医会賞」募集（総会直後から）
 - ・受賞者の選考、選出・・・2011.7
- 5, 同期会の開催（予定）
 - ・卒後20年同期会・・・医10期生（10.3.19琵琶湖ホテル）
 - ・卒後10年同期会・・・医20期生（10.3.12琵琶湖ホテル）
 - ・卒後10年同期会・・・看4期生（詳細未定）
- 6, 学生へのサポート
 - 1) 国試説明会で「医師賠償責任保険」加入の案内（加入意思確認書受理）
 - ・2010.11（「湖医会」年会費の納入を前提とする）
 - 2) 卒業祝賀会を学生と共同運営・・・2011.3.10
 - 3) 「西医体」応援キャンペーン・・・2011.6
 - 4) 活動支援
 - 若帖祭実行委員会へ補助¥200,000／卒業生祝賀会を主催¥100,000／
 - 新入生歓迎会への補助¥100,000／
 - 看護学科卒業生と学生の交流懇談会への補助¥50,000

- 5) 『湖医会奨学金』・『藤原よしみ奨学金』の実施
- 6) その他
 - 新入生オリエンテーションで「湖医会」を紹介／関東支部会への参加案内／OB会等への案内状発送用宛名ラベルの提供／その他
- 7, 大学への協力
 - 1) 滋賀医学国際協力会へ補助¥100,000
 - 2) 会議に参加・・・関連病院長会議／滋賀医学国際協力会／経営協議会／学外有識者会議
 - 3) 行事に参列・・・卒業式／入学式（オリエンテーション）
 - 4) 協力・・・依頼のある各部署へタックシール等の提供 ほか
 - 5) 『地域「里親」による医学生支援プログラム』の実施への協力
- 8, 支部会への援助
 - ・関東支部会・保健師部会への援助
- 9, 「医師賠償責任保険」加入者の拡大
 - ・自動契約、保険料の自動引落としにより手間が省けることをアピールして中途加入者の増加を図る
- 10, 30周年記念事業の準備
 - 1) Home Coming Day
 - 2) 地方会・MLの立ち上げ
 - 3) 奨学金制度の拡大
 - 4) 病院情報サービスの拡充
 - 5) 「湖医会」文庫
 - 6) その他

2009年度決算報告書

資料1-2①

I. 2009年度一般会計決算報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越費	7,726,949	今年度支出費	13,615,456
今年度収入費	11,703,266	次年度繰越費	5,814,759
計	19,430,215	計	19,430,215

II. 2009年度特別会計決算報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越費	9,789,087	今年度支出費	995,975
今年度収入費	7,587,831	次年度繰越費	16,380,943
計	17,376,918	計	17,376,918

2009年度一般会計決算書

資料1-2②

(2009.9.1~2010.8.31)

<収入の部>		単位：円		
款	項	09予算額	09決算額	差引増減額
繰越金		7,726,949	7,726,949	0
会費	本年度会費	10,000,000	10,377,559	-377,559
広告費	広告費	700,000	470,000	230,000
事務手数料	医師賠償責任保険集金手数料	500,000	463,818	36,182
雑収入	利子及び雑入	80,000	391,889	-311,889
	計	19,006,949	19,430,215	-423,266
<支出の部>		単位：円		
款	項	09予算額	09決算額	差引増減額
事務費	消耗品費	6,660,000	4,606,426	2,053,574
		650,000	657,303	-7,303
	備品費	150,000	119,083	30,917
	通信費	500,000	362,926	137,074
	人件費	5,000,000	3,336,693	1,663,307
	労働保険等事業主負担費	20,000	15,886	4,114
	口座振替委託手数料	40,000	11,970	28,030
	渉外費	100,000	2,630	97,370
	部会参加費	200,000	99,935	100,065
会議費	会議費	500,000	111,090	388,910
事業費		2,460,000	2,277,940	182,060
	定期刊行物費	1,600,000	1,347,415	252,585
	名簿費	0	372,960	-372,960
	湖医会賞費	0	0	0
	卒業祝賀会費	200,000	160,000	40,000
	記念品費	180,000	165,375	14,625
	会員慶弔費	30,000	45,443	-15,443
	同期会費	450,000	186,747	263,253
助成費		880,000	470,000	410,000
	退官教授祝賀費	30,000	20,000	10,000
	新入生歓迎会費	100,000	100,000	0
	看護学科交流会費	50,000	50,000	0
	学生補助費	400,000	0	400,000
	若帖祭補助費	200,000	200,000	0
	国際協力会補助費	100,000	100,000	0
積立費		6,000,000	6,000,000	0
	同窓会館設立準備費	500,000	500,000	0
	記念事業等積立費	5,000,000	5,000,000	0
	名簿積立準備費	500,000	500,000	0
予備費	予備費	2,506,949	150,000	2,356,949
	計	19,006,949	13,615,456	5,391,493

主な資料

資料1-2③

2009年度一般会計決算報告内訳 (2009.9.1~2010.8.31)

1. 記念事業積立費			
収入の部		支出の部	
前年度繰越費	1,247,676	残高証明手数料	315
同窓会より繰入	5,000,000		
決算利息	367	次年度繰越費	6,247,728
計	6,248,043	計	6,248,043
2. 同窓会館設立準備費			
収入の部		支出の部	
前年度繰越費	3,714,063	残高証明手数料	315
同窓会より繰入	500,000		
決算利息	1,095	次年度繰越費	4,214,843
計	4,215,158	計	4,215,158
3. 名簿発行準備費			
収入の部		支出の部	
前年度繰越費	1,154,752	残高証明手数料	315
同窓会より繰入	500,000		
決算利息	339	次年度繰越費	1,654,776
計	1,655,091	計	1,655,091
4. 「湖医会」奨学金			
収入の部		支出の部	
前年度繰越費	3,653,856	残高証明手数料	500
同期会寄付	306,000	料金	4,530
奨学金返還	930,000	奨学金貸与	600,000
		藤原よしみ返還分	50,000
		次年度繰越費	4,234,826
計	4,889,856	計	4,889,856
5. 「藤原よしみ」奨学金			
収入の部		支出の部	
前年度繰越費	18,740	奨学金貸与	340,000
奨学金返還	200,000		
「湖医会」から借入	150,000		
決算利息	30	次年度繰越費	28,770
計	368,770	計	368,770

2010年度一般会計予算書 (2010.9.1~2011.8.31)

＜収入の部＞				
款	項	10予算額	09予算額	差引増減額
繰越金	前年度繰越	5,814,759	7,728,949	-1,912,190
会費	本年度会費	10,000,000	10,000,000	0
広告費	広告費	500,000	700,000	-200,000
事務手数料	医師賠償責任保険集金手数料	500,000	500,000	0
雑収入	料子及び雑入	450,000	80,000	370,000
	計	17,264,759	19,008,949	-1,742,190
＜支出の部＞				
款	項	10予算額	09予算額	差引増減額
事務費		6,470,000	6,660,000	-190,000
	消耗品費	650,000	650,000	0
	備品費	150,000	150,000	0
	通信費	400,000	500,000	-100,000
	人件費	5,000,000	5,000,000	0
	労働保険等事業主負担費	30,000	20,000	10,000
	口座振替委託等手数料	40,000	40,000	0
	渉外費	90,000	100,000	-50,000
	部会参加費	150,000	200,000	-50,000
会議費				
	会議費	400,000	500,000	-100,000
事業費		2,880,000	2,460,000	420,000
	定期刊行物費	1,600,000	1,600,000	0
	湖医会費	400,000	0	400,000
	卒業祝賀会費	200,000	200,000	0
	記念品費	180,000	180,000	0
	会員應召費	50,000	30,000	20,000
	同期会費	450,000	450,000	0
助成費		880,000	880,000	0
	道官教授視察費	30,000	30,000	0
	新入生歓迎会費	100,000	100,000	0
	看護学文化交流会費	90,000	90,000	0
	学生補助費	400,000	400,000	0
	若松祭補助費	200,000	200,000	0
	国際協力会補助費	100,000	100,000	0
積立費		3,500,000	6,000,000	-2,500,000
	同窓会館設立準備費	500,000	500,000	0
	記念事業等積立費	2,500,000	5,000,000	-2,500,000
	名簿積立準備費	500,000	500,000	0
予備費				
	予備費	3,134,759	2,506,949	627,810
	計	17,264,759	19,008,949	-1,742,190

滋賀医科大学同窓会「湖医会」会則の一部改正 資料3

滋賀医科大学同窓会「湖医会」会則（1981年（昭和56年）3月25日制定）の一部を次のとおり改正する。

第9条第1項のうち、「2年」を「3年」とする。

付則 この会則は、2010年（平成22年）10月23日から施行する。

（改正理由）

役員任期を2年から3年に延長することに伴い、整備するものである。

滋賀医科大学同窓会「湖医会」会則新旧対照表

現 行 (前略)	改 正 案 (同左)
第9条 役員任期 役員任期は、2年とする。但し、再選を妨げない。任期満了後であっても、後任者の選出あるまでは、その務を行わなければならない。	第9条 役員任期 役員任期は、3年とする。但し、再選を妨げない。任期満了後であっても、後任者の選出あるまでは、その務を行わなければならない。
2. 新卒幹事の任期は、前項に関わらず次の役員改選までの期間とする。	2. (同左)

「湖医会」30周年記念事業について

資料4

- Home Coming Day (企画)
 - 日時：平成24年1月7日（土）～8日（日）
 - 場所：大学キャンパス内
 - 企画：講演会 湖医会賞受賞者、1期生教授
大学首脳陣との懇談会
施設見学
分科会 女医、開業医、
各クラブの発表
同期会の同時開催 etc.
- 地方会、メーリングリストの整理
地方会の立上げに向け、各地区のメーリングリストの整理から始める。
- 奨学金制度
規約の見直しを行い、奨学生支援枠を拡大（人数の拡大、支援開始時期の流動性）する。本年度より既に人数枠、支援学年枠を拡大した。
- ウェブを促す求人、求職の整備
病院側、医師（看護師）側、双方からの求人、求職情報がみられるウェブページを整備する。
- 湖医会文庫
寄贈本の裏表紙に名前がはいることが（minimum）proofされた上で、寄付を募り、寄付額に応じ、学生の希望に叶った本を購入し、図書館蔵書とする。
- 「湖医通信」記念号
記念号を発行する。30周年を契機に発行等の整備を進める。

「湖医会」創立30周年記念事業

Home Coming Day

来年(2012年)1月7日(土)～8日(日)にHome Coming Dayを開催します。

湖医会賞受賞者の講演、大学首脳陣との懇談、医1-2期生を中心とした企画のほか、学内・院内見学ツアーや女医、開業医、看護・保健師の各会、滋賀・地域医療の会、学生による体育会・文化会など各分科会のブースも計画されています。

(プログラム案のとおり)

この機会に、大きく様変わりした母校を是非お訪ねください。

30周年記念事業としてHome Coming Dayのほか、次の事業が計画されています。

- ・地方支部会の立ち上げ支援:
5地区のメーリングリストの整理、作成
- ・奨学金制度のリフォーム:
支援対象範囲の拡大を中心として
- ・「湖都通信」:
記念号の発刊
- ・求人、求職情報の発信:
求人病院の範囲拡大と求職情報
webを介した双方向情報ツールとしての整備
- ・在学生支援事業:
湖医会文庫(大学図書館に図書を寄贈)、等
事業の詳細が決定しだい、ホームページ等でお知らせします。

Home Coming Day プログラム (案)

主催： 滋賀医科大学同窓会「湖医会」

月 日	時間	内 容	会 場
平成24年 1月7日(土)	13:00	フリータイム 施設見学ツアー ほか	CMCホールほか
	夜	<同期会>	大学-ホテル連絡バス ホテル
1月8日(日)	10:00	フリータイム 施設見学ツアー 各分科会のブース 開業医 女医 保健師、看護師 滋賀地域医 等 各クラブの協賛 体育会系 文化会系	CMCホールほか 学生食堂 各分科会で軽食
	13:30 (13:30)	午後のイベント ①講演会 湖医会賞受賞者	看護学科第1講義室
	(14:30)	②大学の「現在(いま)」を聞く 馬場学長ほか	看護学科第1講義室
	(15:30)	③医1-2期生の企画 座談会または講演会	看護学科第1講義室
	夜	<同期会>	大学-ホテル連絡バス ホテル

保健師部会 交流会

2010年12月11日(土)、毎年恒例の『保健師部会』が行われました。もともと『保健師会』として1期生の卒業後、県内の保健師が集まりスタートしたのですが、2006年に「湖医会」『保健師部会』になりました。これにより「湖医会」は案内・報告の送付やMLの運営等のサポートをしています。同窓の保健師の集まりということで、仕事に対する気概や悩みなども自由に話せ、貴重な情報交換の場にもなっています。1人でも多くのご参加をお待ちしております。

～保健師部会に参加して～



大津市保健所保健予防課

中川 拓也 (看12期生)

昨年の保健師部会交流会から参加させていただき、最初は初めてお会いする先輩方もおられるということもあり、緊張しながらの参加でした。その中で、実際の仕事の話やプライベートの話など、自分の職場とはまた違った話を聞くことができ、とても充実したひとときを過ごせたことを覚えています。

今回私は幹事をさせていただき、当日の開始時間まではうまく会が進められるか不安でした。実際に会が始まると、参加者8人それぞれのお話を皆さんで聞くという雰囲気でお話が進み、少人数ならではの顔がよく見える交流会になったのではないかと思います。

私自身保健師2年目として、自分の日々の仕事や日常生活の中で思うこともありましたが、先輩方の話を聞く中で、皆さんもそれぞれ悩み考えながら保健師をされているということが分かりました。同じ仲間同士それぞれの立場で話げできたので、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回の保健師交流会を開催するにあたり、滋賀医科大学同窓会「湖医会」の皆様にはお力添えをいただき感謝いたします。今後の保健師部会を盛り上げていけるように尽力していきたいと思ひます。



大津市健康推進課

西川 幸恵 (看11期生)

保健師部会交流会へは、今回初めて参加させていただきました。会の様子は過去の湖都通信を読んで知ってはいましたが、実際に自分が出席するとなると「何を話せばいいのか」「何を聞けばいいのか」と、仕事とはまた違う意味で緊張していました。

しかし私の心配をよそに、当日は少人数で、先輩方とテーブルを囲んで和気藹々とお話する事が出来ました。他市町村の保健事業や、先輩方の日々のお仕事内容をお聞きして、仕事の上で工夫されていることや、自分の市の業務との違いなどを、具体的に知ることが出来ました。

また、先輩方のお話を聞いていると、今の私とは比べ物にならないほど責任重大で大変そうでしたが、話しながら表情がとてもキラキラされていたのが印象的でした。私も今後交流会に参加したときには、後輩たちに「こんな仕事してみたいな」「こんな先輩いいな」と思ってもらえるよう、今まで以上に真剣に仕事に向かい合っていきたいと決意を新たにすることが出来ました。

最後になりますが、今回の交流会を開催するにあたり、多大なサポートをいただいた滋賀医科大学同窓会「湖医会」の皆さまにお礼申し上げるとともに、今後の保健師部会の更なる発展に向けて、微力ながらお手伝いさせていただきます。

クラブ紹介

体育会・文化部のキャプテン・主将から活動内容、抱負、先輩OBへの感謝の気持ちを集めました。
是非、メッセージをお読みください!!



遊書会

私たち遊書会の活動場所である和室は今、これまでにない賑わいをみせています。部員数は10人を超え、時に和室に入りきらないほどの人間が集まります。部員はそれぞれ書道展での入賞を目指すもの、きれいな字を書くために練習するもの、目標を定めずとにかく書を楽しむもの等々が入り乱れ、時に緊張感をもって、時にわいわいがやがやと、遊書会らしく活動を続けています。今後も皆で書に遊び続けられればと思います。
〈大島理利〉

コンピュータ部



このたびコンピューター部の部長を務めさせて頂くことになりました。医学科三回生の田町知子です。現在コンピューター部は堀池先生に顧問をお願いしており、福利棟二階の部室で普段の活動を行っています。また若鮎祭へ出店することもあり、学校行事にも参加しています。OB、OGの先生方にはOB会や追い出しコンパのお誘いのハガキを送らせて頂いております。ご都合がよろしければぜひご参加下さい。
〈田町知子〉



美術部

OB、OGの皆さまこんにちは。現在、私たち美術部は特定の決まった日時に活動を行ってはいませんが、部員それぞれが自分のスケジュールやペースに合わせて活動を行っており、おもな活動は若鮎祭での展示に向けての作品作りで、絵画の制作に取り組んでいます。また昨年の若鮎祭では、ステージの装飾にも関わりました。今後は、絵画制作だけではなく新たに、陶芸作りにも挑戦してみようか・・・と部員皆で計画中です。
〈田原真由美〉

卓球部



OBの先生方いつもあたたかい応援ありがとうございます。卓球部は現在男子19人、女子11人の計30人で活動しています。団体戦、個人戦ともに上位入賞目指して日々練習に取り組んでいます。その結果、昨年は北陸近畿中部大会で女子団体準優勝、女子シングルス、ダブルス優勝を勝ち取ることができました。今年も部員一同一丸となってより良い結果が出せるよう頑張りますので、応援よろしく願います。
〈角田陽子〉



柔道部

滋賀医科大学柔道部は、現在男子10名、女子11名の総勢21名で活動しています。部員のうちほとんどが大学から柔道を始めた者ばかりですが、有段者を数多く輩出し、女子では三段を取得したのもいます。今年は、西医体での上位進出を目標に掲げ、日々練習に励んでいます。どうぞこれからも滋賀医科大学柔道部をご支援よろしく願います。
〈澤崎史弥〉

ソフトボール部



OB・OGの方々、日頃からご声援、ご寄附ありがとうございます。ソフトボール部は、現在週2回の練習と大津リーグ・九州山口大会・西日本交流戦に参加しています。1、2年生が主体のチームで、まだまだ力不足ですが、西日本交流戦(佐賀大が新規参入)で上位に入れるように、組織プレーを磨いています。ソフト部では毎年11月の文化の日にOB戦を実施しておりますのでOB・OGの方々是非ご参加下さいませ。
〈谷本健斗〉



男子バレー部

私たち男子バレーボール部は火、木、土の週3回練習を行っています。去年の夏は西医体優勝を成し遂げることができ、6年生2人の引退試合を優勝という最高の形で飾ることができました。今年も次の西医体で引退となる先輩が3人おられます。その先輩方の引退試合も最高の形で飾れるよう、西医体連覇という目標を掲げ、チーム一丸となって日々頑張っていると思います。
〈鉢呂康平〉

陸上部



こんにちは。陸上部は週3回グラウンドで活動しています。みんながそれぞれ別の目標を持って楽しく練習を行っています。昨年は個人としては多くの者が自己ベストを更新することができ、チームとしても関西で優勝するなどすばらしい成績を残すことができました。今年の目標は昨年以上の結果を出すことです。この目標を達成できるよう精一杯練習していきたいと思っています。応援よろしく願います。
〈岡本寛樹〉

水泳部



僕たち、水泳部は主に春から秋にかけて、練習をしています。シーズンは他の部に比べて少ないですが、その分シーズン中は自分たちの練習に加え、他の医大の合宿にも参加するなど、非常に充実した部活動をしています。昨年は、OBの九嶋亮治先生が湖医会賞を受賞されました。部員一同、ご活躍なさっている先輩の姿に感銘を受けて、自分たちも負けずに頑張ろうという気持ちでいっぱいです。
〈横田佳大〉



硬式テニス部

私たち硬式テニス部は現在男子14名、医学科女子11名、看護学科女子11名の部員が在籍しており、厳しいながらも和気藹々としたなかで活動を行っています。男子は春の近畿医科学生硬式テニス大会におきまして優勝を、夏の西日本医科学生総合体育大会硬式テニス部門におきましてはベスト8を目標に、日々弱点の克服に努め、練習に邁進しております。部員一同至らぬところもあるかとは思いますが、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしく願います。
〈茶谷元晴〉

ラグビー部



今年度の主将を務めさせていただいております中川翔太です。関西西医歯連覇、西医体優勝と数々の栄冠を手にしてきた6回生が引退され、若返ったチームは日々奮闘しております。経験不足は否めませんが、若さ・気持ちで補えると信じ一丸となったプレーを心がけています。目の前の壁は大きいですが、関西西医歯、西医体と上を目指して全員ラグビーで挑戦していきますので応援、ご指導のほどよろしく願います。
〈中川翔太〉



女子バレー部

私達女子バレーボール部は、毎週火曜日17:00~19:00、木曜日17:00~19:30、土曜日9:00~12:00に活動しています。現在は医学科、看護学科あわせて9名の現役部員しかいませんが、学年の垣根なく明るく練習に取り組んでいます。バレーボールは、一人がどれだけ頑張ってもボールをつなぐことはできなく、コートに立つ6人が気持ちを一つにして一つのボールを追いかけなければ、勝つことはできません。これから、部員全員が気持ちを一つにして、春の医療系、夏の西医体に焦点を合わせ、その他の大会でも勝つことを目標として練習に取り組んでいきたいと思っています。
〈宮崎和美〉

合気道部



我が合気道部は肉体の鍛練だけでなく、精神の鍛練にも重点をおいた武道系部活です。今年は将来有望な新入生が4人も入ってくれて、さらに3回生の編入生や新しいマネージャーも加わり、とても活気溢れています。週2回の練習には師範の先生に毎回来ていただき、日々の稽古も充実したものとなっています。今年度の西医体では入賞には届きませんでしたが、この恵まれた環境を生かし、来年度こそは入賞を目指す所存です！
 <廣坂雄介>



茶道部

【2011年から作法研究部から茶道部に名称が変更されました】

茶道部では裏千家の先生をお呼びして、月3回お稽古をさせていただいています。お稽古以外にも、先生のお茶会のお手伝いをしたり、お初釜や、裏千家学生セミナーへの参加など幅広く活動しています。学生が中心となって開くメインのお茶席が若鮎祭であり、若鮎祭を成功させることが毎年の目標となっていますので、若鮎祭に来られたときは、是非お茶席へ足を運んでくだされば嬉しいです！ほっと一息つけますよ～
 <山口佳奈>

ゴルフ部



日頃よりお世話になっている先生方、先輩方に今のゴルフ部を紹介させていただきます。新入部員が8人入り総勢44名。西医体では入賞はなりませんでした。が、国公立戦では沼田侑也先輩が優勝しました。
 <岡本和浩>



空手部

いつも先輩方にはお世話になっております。現在、空手道部は部員がそれぞれ課題を持ち、練習をしております。しかし、現在の試合結果はあまり良い結果とは言えません。今後は先輩方に報告できるような試合結果を出していきたいと思っています。日々の練習を頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
 <三村和哉>

女子バスケット部



私達女子バスケットボール部は現在部員が少ないのですが、それをこのチームの強みにとったバスケットをしたいと考えていて、常に全員で話し合いながら練習に励んでいます。現在は3月末に行われる医系女子バスケットボール大会に向けて意識を高めているところです。OB・OGの皆様にはいつもご支援頂き部員一同心より感謝しております。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。（奥田紗千）

端艇部



現在、滋賀医科大学端艇部は部員26名、マネージャー19名で活動しています。昨年度、端艇部は西医体総合優勝6連覇を目指していましたが、残念ながら総合3位という結果になってしまいました。今年度は途切れた西医体の総合優勝、また男子4+でのインカレ入賞を目指して部員一同、精一杯頑張っていきたいと思っております。これからも滋賀医科大学端艇部をよろしく願致します。
 <梅田康平>



写真部

写真部の主な活動は若鮎祭での写真展示です。部員1人1人が一年間に撮りだめた色とりどりの思い出を服部副学長のご支援の元印刷させて頂いています。大切な思い出を切り取って、見返した時にその時の思い出や感動を再び感じられるような写真がとれれば良いなと思っています。レンズを変えたり、露出をいじったりと一眼レフならではの工夫をしながら楽しく写真を撮っています。
 <角田秀樹>

バドミントン部



私たちバドミントン部は、男女約50名の大所帯で活動しております。週3回の練習をはじめ、各種行事も男女合同で行っており、和気あいあいとした雰囲気や大事にする部活作りを目指しています。各種大会でも上位入賞を果たしており、経験者だけでなく大学からバドミントンを始めた部員も輝かしい成績を残しております。西医体や西コメなどの大きな大会での優勝を目指して頑張っておりますので、今後とも応援の程よろしくお願いいたします。
 <平野慎悟>



アカペラサークル

私たちアカペラサークルは現在部員41名で活動しております。今年は新入生が14名も入部してくれましたので、部員も増え、和気あいあいとした中でバンドごとに切磋琢磨しています。ライブはしがっぺらが春夏と年2回、新歓、学祭、クリスマス、外部からの依頼ライブなどがあり、他に夏合宿、追いコンなど様々な場所でライブを行っています。今後とも聞いてくれる方に喜んでいただけるよう努力しますのでご支援よろしくお願いいたします。
 <益田真志>

準硬式野球部



初めまして、準硬式野球部主将の徳山尚斗です。私たち準硬式野球部は現在関西準硬式野球連盟・関西医歯薬1部リーグに所属しており、リーグ戦での優勝、西医体での優勝を目標に日々頑張っております。野球部OB・OG様方につきましてはOB総会、OB戦などを通じて暖かいご支援、ご指導を承り本当に感謝しております。現在部員は若い学年が多くまだまだ未熟ではありますが、その分伸びしろの多いチームであると感じております。ここ最近では西医体で良い結果が出ておりませんが、良い成績を収めるとともに野球部員一人一人がチームスポーツの中で多くのことを学べますよう頑張っていきます。今後ともご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。
 <徳山尚斗>

サッカー部



現在サッカー部は部員25名、マネージャー6名の総勢31名で活動しています。月、木、土、日曜日と大学グラウンドでリーグ戦、春の大会、西医体に向けて練習しています。昨年は春の大会で準優勝という結果をおさめる事ができました。今年もOB、OGの先輩方に良い結果を報告出来るように頑張りますので、よろしくお願いいたします。
 <小林達矢>



剣道部

こんにちは。剣道部です。先輩方には日頃から応援していただき、ありがとうございます。僕達剣道部は少ない人数ですが各自自分の目標に向けて毎日稽古に励んでいます。特に昨年は西医体団体戦で初勝利を果たすなど、一定の成果を挙げることができました。またずっと減少傾向だったのですが、昨年はたくさんの新入部員を獲得できました。この調子で今後も発展させていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。
 <松永隆志>

オーケストラ部



昨年12月4日、私たち管弦楽団は第53回定期演奏会を開催しました。今回も地域の方々をはじめとして多数のお客様にお越しいただき、素敵な演奏会にすることができました。

私たちは年に二度演奏会を開催しています。今度は6月にむけて、よい演奏をお届けできるよう、部員みんなで頑張っていきたいと思っております。

<太田えり>



ハンドボール部

私達ハンドボール部は現在部員14人、マネージャー8人で活動しております。練習は週3回しており、下級生も積極的に試合に出ています。去年の西医体では3位でしたので、今年の西医体での優勝に向けて日々頑張っております。また私達は、医学部の大会以外にも全学連にも参加しています。現在3部に所属しており、2部への昇格、インカレへの出場を目標にしております。今後とも応援よろしくお願いいたします。
 <黒住日出夫>

ワングル部



現在部員24名で活動しており、泊まりでの山行やハイキングなどそれぞれの感じ方で山の魅力に触れています。そういうこともあり、かなり自由に活動させてもらっていますが、山ガールなる集団が現れ山に対するイメージが変化してきたので、そろそろ活動を密にしていきたいと思っております。心構えや知識があれば山は誰も拒まないと思うので、これから山が好きな人が増えればと思います。

<熊野曜平>

その他、ラグビー部・ヨット部・男子バスケット部・スノーボード部・スキー部・軽音楽部も活動しています。



第10回『湖医会賞』

締切：2011年5月31日

候補者の推薦を受付中!

教育領域
研究領域
臨床・福祉領域
その他の領域

ホームページでも案内しています <http://www.koikai.org>

各分野で活躍する卒業生をご推薦ください。
前回から他薦のみになりました。

『湖医会賞』とは・・・

学生等の教育や研究、地域医療等の臨床・介護・福祉、その他の領域で優れた実践を行い、医学および医療・福祉の向上に貢献した「湖医会」会員に対して、賞状ならびに副賞(20万円)をもってその栄誉を称えるものです。

ただいま、第10回候補者の推薦を受け付けています。多数ご応募ください。

応募方法 所定の推薦書に必要事項を記入のうえ、事務局までお送りください。
FAX 077-548-2094 または メール koikai@koikai.org

クリエイティブ・モチベーション・センターの看板ができあがりしました!



筆者：宮下史寛(医5回生)

学生課の栗本さんから「クリエイティブモチベーションセンター(以下CMC)の看板を毛筆で書いてもらえないか」という依頼を受けたのは昨年9月頃でした。これまで漢字の作品を中心に作ってきた私にとって、毛筆でアルファベットを書くということは初めてのことで、最初は戸惑いと、「この先ずっとCMCに残り続ける看板にふさわしい作品を書くことができるのだろうか」という不安しかありませんでした。

CMCは、2009年3月に竣工した施設ですが、その建築の計画段階では学生、特に文化会の意見を学生課の栗本さんや解剖学講座の相見准教授(「湖医会」副会長)が中心となって取り入れてくださり、我々も様々なアイデアを出させてもらいました。中でも、センターの名称は文化会のキャプテン会議の中で、学生達が創造力豊かに活動できるようにという思いを込めて決定しました。今回の依頼でも、創造的で、自分たちにしかできないようなことをしようという気持ちで作品を作りました。

依頼を受けてからは、遊書会の部員全員で文字の配置・構成や字体、墨のにじみ・かすれ、運筆の速さなどを変えながら様々な試作品を作っていました。最も苦労した点は、漢字であれば文字の崩し方やバランスの取り方を古典や辞典を見て参考にすることができるのに対し、今回の作品は、文字がアルファベットであるが故に参考にすることがほとんど無かったという点です。この点に関しては、まず漢字の楷書体や行書体、草書体、そして英語の筆記体などを参考にしながら作品を作ることになりました。しかしながら、アルファベットは曲線が多く、筆の穂先がねじれるために力強い線を出すことが難しいこと、看板という性質上、文字の可読性を残しながら芸術性を追求することが難しいことから、なかなかいい作品ができませんでした。

最終的には、部員の意見を取り入れながら私がいくつかの試作品を作り、その中から服部副学長が選ばれた1つの作品が看板となりました。選ばれた看板の文字は、「やさしさ」や「あたたかさ」をイメージしながら書いたものです。この看板のイメージにもあるように、今後もこのCMCが多くの人に利用され、あたたかく、愛されるような施設になることを願っています。

お知らせ

クラブへのカンパに寄附控除

～課外活動支援寄附～

クラブへの寄附に対して、寄附控除が受けられることになりました。

詳しくは、「湖医会」事務局まで

TEL:077-548-2074/FAX:077-548-2094

E-mail:koikai@koikai.org



ご協賛
ありがとうございます

アストラゼネカ株式会社 / 扶桑薬品工業株式会社

(順不同)



竹下和良 (医6期生)

毎日、忙しく過ごしておりますが、充実しております。

滋賀医大の学生や卒業生で離島医療に興味のある方の見学など歓迎します。

奥尻町 国民健康保険病院

〒043-1401

北海道奥尻郡奥尻町字奥尻462番地

電話 01397-2-3151

注意 ..今度は

最近、看護学科を中心に

「6月にある同窓会の連絡のために・・・」と卒業生の名を語って、連絡先を聞きだそうとする迷惑電話がかかってきております。

「湖医会」では
個人情報を電話で問い合わせることはありません!

住所変更等の連絡は

FAX・メール・郵便で行っています

もし、あなたに電話がかかってきたら

- ・こちらからかけ直す
- ・幹事に知り合いがいるから直接知らせる
- ・この前事務局に連絡した

などと言って電話を切り、おかしいと思われたら事務局にお訊ねください。

きつい口調で相手を怒らせるのは得策ではありません。

それ以後何度も電話をかけてきて暴言を吐く輩もいるようです。

「湖医会」もたいへん迷惑を被っています。

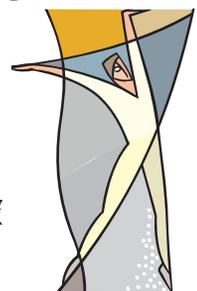
くれぐれも偽会員にご注意ください!!

学生のみなさん ★

どしどしご利用ください

「湖医会」奨学金

「藤原よしみ」奨学金



詳しくは、「湖医会」事務局
または学生課へお問い合わせください!